

大桑 第114号 5月号 まさたか

さかえく せかい か
栄区から横浜を変える！

JR大船駅・JR本郷台駅・JR港南台駅で配っていきます！

栄区から、しがらみのない市政(政治)を実現します！



市議員3期目
よろしくお願いします！

市議員としての約束

- 1、選挙の前も選挙の後も駅前に立ち続け新聞(広報)を配り続けます。
- 2、大桑まさたかの政務調査費を公開し続けます。
- 3、私たち市民が市政(政治)に参加する流れをつくります。
- 4、子や孫のために持続可能な横浜(社会)をつくります。

重症心身障害児者施設について

横浜市は、医療的ケアを必要とする重症心身障害児者などと、その家族ができるだけ身近な地域で、安心して生活できるようにするため、横浜市内の6か所に重症心身障害児者施設を整備しようとしています。この施設は診療所があり、短期入所事業や相談支援事業などをおこなうことになっております。

そのような中、以前、大桑新聞でもお知らせしましたが、栄区桂台(桂台中学校の横)において重症心身障害児者施設の「南西部の拠点」を整備しようとしています。また、工事の状況ですが、施設の整備状況はスケジュールどおり進んでおります。

次に、この施設の開所時期ですが、平成24年10月頃を予定しています。また、施設が開所をするときは、施設側が近隣の方々や関係者などを招いて、内覧会や開所式をおこなう予定となっております。最後に、施設の開所予定などに変更があれば、すぐにお知らせしますので、よろしくお願いします。

大桑新聞

第114号(5月号)

連絡先

横浜市議員 大桑正貴(市政報告書)

〒247-0005 神奈川県横浜市栄区桂町688-4-601

TEL : 045-892-5187

FAX : 045-892-5187

H P : <http://m-okuwa.net/>

E-mail : m-okuwa@mvg.biglobe.ne.jp

プロフィール

大桑正貴(まさたか)

昭和48年(1973年)7月4日生まれ横浜育ち 血液型A型
横浜市立小山台小学校入学

大分県立大分舞鶴高校入学(1年次冬、転勤で横浜へ戻る)
神奈川県立大岡高校卒業

神奈川大学法学部法律学科卒業

平成14年(2002年)12月 アシスト株式会社退職

平成15年(2003年)4月 横浜市議員 初当選

平成19年(2007年)4月 横浜市議員 2期目当選

平成21年(2009年)9月 明治大学 専門職大学院卒業

平成23年(2011年)4月 横浜市議員 3期目当選

家族 : 妻、子(3人)、ママ(猫)、グリ(犬)

JR大船駅・JR本郷台駅・JR港南台駅、いずれかの駅で配布しております。

3月分の収支報告(収入は政務調査費55万円/毎月)

平成23年度3月現在の政務調査費累計残高は一28,769円です。

今月の支出の内訳

研究会・研修会費	0円	会議費	0円
調査研究費	19,060円	事務費	9,693円
資料費	7,170円	事務所費	110,612円
広報・広聴費	353,772円	その他	0円
人件費	71,000円		

3月の支出合計は

571,307円です。

近況報告

平成24年第2回市会定例会が、平成24年5月31日(木)から6月21日(木)で開催される予定となっております。この定例会(会議)では、新たに担当する委員会などが決まります。新たに担当する委員会が決まりしだい、大桑新聞でお知らせしますので、よろしく願います。

次に、私の事務所についてですが、定期的に人がいる状態を作ることができていません。また、私も区役所や市役所に行くことが多いため、あまり事務所にいることができません。そこで、大変申し訳ありませんが、ご用のある方は、事務所の電話(留守番電話)にメッセージを残して頂くか、Eメールでご連絡頂けるよう願います。

重症心身障害児(者)施設と保育所について

横浜市は、港南区港南台4丁目(環状3号線沿いで旧港南台高校の向かいグラウンド)に重症心身障害児(者)施設と保育所を整備する計画をたてています。現在の横浜市の計画では、重症心身障害児(者)施設の定員は200名、保育所は90名程度を予定しているようです。

この計画については、以前も大桑新聞でお知らせをしましたが、そのときより計画が遅れています。当初の計画では、平成24年度から工事開始となっていました。しかし、横浜市は地元への説明などを丁寧にする必要があるとして、平成24年度も地元の方々への説明をする期間とし、工事開始は平成25年度からとしています。

次に、今回、作ろうとしている重症心身障害児が長期的に入所できる施設は、横浜市内にも3か所ありますが、まだ施設が不足している上、横浜市の南部方面にはこのような施設がありません。

最後に、保育所についてですが、横浜市では待機児童を少なくするため、毎年、保育所などの整備を進めており、着実に待機児童数は減少しております。しかし、「毎年、待機児童がいる」というのは事実です。

今回紹介した両施設は、横浜市にとって必要な施設となっておりますので、ご理解頂きますよう、よろしく願います。

放射線量測定機器について

横浜市では、各区役所において、平成24年1月30日(月)から放射線量測定機の貸し出しを始めております。当初は4月末までの予定となっていたのですが、今回、7月31日(火)まで延長となりましたので、改めて、お知らせします。

次に、貸出場所ですが、お住まいの区役所となっております。貸出対象は基本的に、区内在住の20歳以上の横浜市民となっております。

次に、貸出期間などですが、平日の1日。時間は午前9時から16時までとなっております。また、放射線量測定機器の貸出回数ですが、栄区では2台の配置となっておりますので、1世帯・1回(1回目の方が優先)・1台までとなっております。

最後に、連絡先ですが、栄区は「TEL:045-894-6491」となっています。



大桑新聞ではみなさまとともに、

栄区について考えていきたいと思っております。

HP : <http://m-okuwa.net/>

E-mail : m-okuwa@mvg.biglobe.ne.jp